

2023(令和5)年度 活動実施計画書

1 活動実施場所

御前崎港久々生海岸(御前崎市港地先)

2 活動実施の方針

2022年度までの取り組みを継続的に行うと同時に、新たに生まれた関係等を活かし、久々生海岸の更なる保全と新たな利活用の提案を行っていく。

自然楽校事業では、アース・キッズの取り組みを継続かつ発展させることで、久々生海岸の海岸環境や海をはじめとする自然、「自然・環境・社会」のつながりなどについての意識と理解を求めていく。オープンプログラムでは、家族やグループ単位での少人数を対象とした自然体験活動を実施。自然体験活動を楽しむことを通して、海をはじめとする自然や環境について興味や関心を育む。また、法人が自主的に取り組む年間活動内でも久々生海岸を活用させていただき、海をはじめとする自然や環境に対する興味や関心を育むことを目指す。

未来へのこす事業では、里海プロジェクトとしてビーチクリーンを継続的に実施。関係団体等との連携強化も図る。また、昨年度明らかになったアマモの被害に対する対応や対策について、南駿河湾漁業協同組合の皆さんに相談をさせていただき、当法人として行える取り組みの仕組み・基盤構築を図る。同時に、久々生海岸の活用されていない陸域(雑草地)を有効活用し、久々生海岸全体を海辺の環境学習フィールドとして活用できるよう、海浜植物・海浜樹木の植樹や海辺の環境学習フィールド活用提案などを行っていく。

自然とつながる事業では、御前崎市教育委員会が主催する御前崎クエスト内で久々生海岸を活用し、海辺の自然観察や海あそび、シーカヤック体験などに取り組むことで、市内の貴重な海岸環境に触れ、自然の豊かさを体験的に学ぶ。前年度から始まった御前崎市環境課が進める環境出前講座は、当法人(団体)が取り組み自体の継続と活動におけるコーディネートや講師を務めさせていただくことが決まっている。前年度同様、久々生海岸で取り組んできた活動記録等を基に、小学校で学ぶ社会科の授業に即する講座を実施。

法人全体の取り組みとしても、更なる行政機関との連携した取り組みの拡大が予想される。より良い活動や連携協働基盤を構築していけるよう、より広く多くの方に活動の周知を図り、関わってくださる会員の方々などの増加を目指し、各事業に取り組んでいく。

3 活動の実施に関する事項

法人内事業名	事業・活動内容	実施 予定 日時	従事者 の予定 人数	受益対象者の範囲及び 予定人数
自然楽校事業	アース・キッズ …環境学習を目的としたプログラム	年4回 (5・7・9・12 月を予定)	6人	海辺の環境に興味関心のある参加希望者 年間合計 約100名
	オープンプログラム …シーカヤックを活用した海辺の 自然体験活動	4月～11月	2人	参加希望者 年間合計 約80名
未来へのこす 事業	ハチドリ action. 里海プロジェクト(ビーチクリーン)	通年 毎月3～4回	3人	海辺の環境に興味関心のある参加希望者 年間合計 約300名
	ハチドリ action. 里海プロジェクト(アマモの被害対策や雑草地の活用に関する提案等)	随時	2人	海岸及び漁業関係者

自然とつながる事業	協働 Program 御前崎クエスト 全 4 プログラム …海辺の自然観察や海あそび、シー カヤック体験など	活動に応じて	3 人	御前崎クエストに参加する市内在住者と児童 合計 約 100 名
	協働 Program 御前崎 環境出前講座 …久々生海岸での活動等で得た記録を基にした環境学習授業	対象小学校の要望に応じて	2 人	御前崎市内の対象となる小学校・学年の児童